



インテリア計画研究室

Interior Planning Lab.

山本 麻子

YAMAMOTO, Asako / Associate Professor

太陽と学校生活 これからの特別支援学校

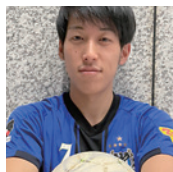
Sun and School Life: Future Special Support School

2007年に学校教育法の改正により、児童生徒等の障害の重複化に対応した適切な教育を行うため、盲学校、聾学校、養護学校を、障害種別を超えた学校に一本化したのが特別支援学校。

しかし、奈良県は未だ特別支援学校はないのが現状である。本計画地、奈良県西部の西和養護学校は現在知的障害者が通う学校である。奈良県西部には肢体不自由者や重複障害者が通う学校が現在は無いので奈良県で最初の障害種別を超えた学校を提案する。

障害種別を超えた施設とするために、共有スペースや動線に留意した。本計画では、児童生徒等が学校生活を過ごしやすい快適な空間にする為に、広いテラスを教室の南面に面して1階、2階共に設けた。

テラスでは太陽の温もりを感じ、教室では木材の温もりを感じる。



飯田 直輝

IIDA, Naoki

下寺のヒトと暮らす —— 保護犬と保護猫をテーマに ——

Living with Humans: Protected Cats & Dogs as Theme



近年、動物たちの殺処分が問題視されている。ニュースや新聞で取り上げられる機会が増し、保護犬や保護猫カフェといった言葉だけでも認知する人が増えた。一方で、「保護」という言葉の重たさを受け止めきれない人は多いのではないだろうか。実際私は、保護カフェを目の前にした時勇気がいった。そこで「保護」という重たい言葉を受け取るためには「過程」を知る必要があると感じた。場所は大阪市に位置する下寺町。神社や寺院が多数現存し、歴史的な街並みの特徴である。その中で私は、お墓などの「別れ」の場が多く存在することに着目した。保護カフェは無数の出会いの場であると同時に、家族として迎え入れる側は必ず「別れ」を考えるからだ。そうした別れの場を「ストーリー化」させた空間で表現する。保護が持つ言葉の意味は変えられないのかもしれないが、その意味を理解しようとするだけでも感じとる重たさは変えられることを実感している。

インテリア部門賞

岡本 良寛

OKAMOTO, Yoshihiro



ソトを楽しむ播磨の日常 — そうめん流し空間の設計 —

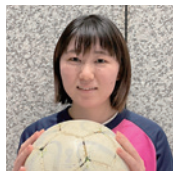
Enjoying Daily Llife Outside in Harima: Design of Space for Somennagashi

私は地元である兵庫県たつの市にある「そうめんの里」でアルバイトをしている。毎年夏に地元の人や観光客が訪れている。しかし、地元の人でもそうめん流し自体は知っているが、ソトでの食事は暑しい、行ったことはないという人が多いという現状がある。

次に、ソトでの活動は日常に充実感をもちたさと考えられている。何も予定がなく家にこもりっぱなしでも、窓を開けてソトの空気を吸ったり、少しソトに出て散歩するだけで良い日常になったと感じることはないだろうか。ソトの空気に触れ充実感を得ると、思考も前向きになれる。

この2つの観点からそうめん流し空間を魅力的な居心地の良い空間にして、もっと地元の人に来てもらえる場所にし、ソトでの活動を身近にしてみたいと考えた。

そこでそうめん流しを通してソトを日常の一部にする空間を提案する。



表口 奈央

OMOTEGUCHI, Nao



琵琶湖とワタシ 3つの「しょく」で活気ある湖岸へ

Lake Biwa and Me: For Lively Lake Shore from Point of View of Three Kinds of “Shoku”



住む場所として定着しがちな守山市の湖岸で、様々な体験ができ、ゆったりと過ごすことが出来る場所。

琵琶湖で過ごし、季節を感じ、ともに成長していく、新たな居場所。

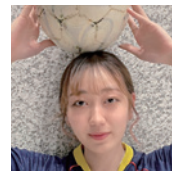
老若男女問わず気軽に琵琶湖のこのスペースを最大限楽しむことの出来る施設を提案する。

ここでは、働、触、食の3つの「しょく」を体験することが可能である。まず、「食」では、綺麗な琵琶湖を眺めながら、特産品などを使用したbuffetを楽しんだり、家用に新鮮な食材を買ったりすることで、守山市の食文化に触れる。「職」は、田植え体験や果物狩り、鮎釣りなどで、職業体験を行う。「触」は、琵琶湖の自然や、この施設で時間を過ごすことを通して、様々な世代が触れ合い、時間を過ごすことで交流を深めることを狙いとしている。

琵琶湖を活かして、守山市の湖岸に活気を呼び寄せる。

柘田 有羽

MASUDA, Yu



サウナの杜 サウナから始まるあなたの物語

Sauna Forest: Your Story Starting with Sauna

堺市には千利休や与謝野晶子など歴史的に有名なものがたくさんあるが、活気がないのが現状である。堺の活気あふれた本来の街に戻すには、歴史を混ぜつつ流行を追わなければいけない。そこで堺の歴史の代表である茶室と、現在流行になりつつあるサウナを混ぜたサウナ施設を設計した。

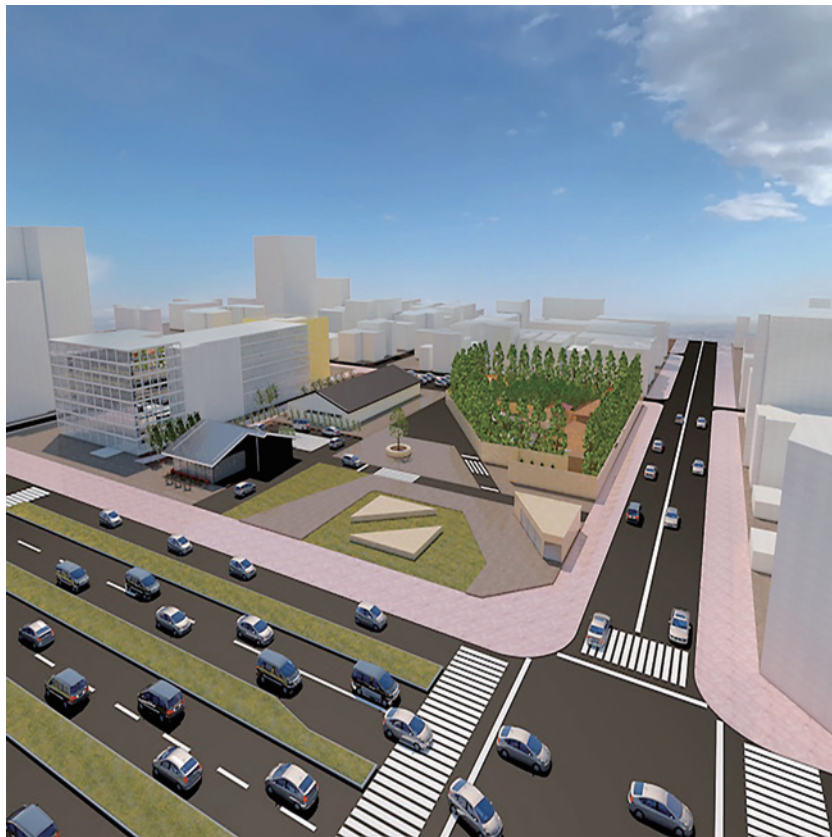
今回の敷地にはさかい利晶の杜という歴史館や、梅の花といったお豆腐屋さん、そしてドライブスルーでいつも長蛇の列を作っているスターバックスなどがある。そこにサウナをうまく組み合わせて、人が回遊し、新たな活性化を目的としている。

さらにサウナにはコミュニケーションが生まれる傾向にあるので、新たなコミュニティが生まれ、堺市の地域全体での活性化を目標としている。



小池 一心

KOIKE, Isshin



十三つばめ通り商店街 懐かしさの復活と進化

JUSO TSUBAME DORI Shopping Street: Revival of Nostalgia and Evolution



近年、地方の近接型商店街の衰退が増えている。

主な原因は、大型ショッピングモールの充実や、高齢化による人口減少が考えられる。

利便性や土地活用の面で考えると効率性はいいが、人と人とのふれあいなどの昔ながらの良さがなくなっている。

そこで、私の地元の大阪市淀川区の十三にあるつばめ通り商店街を復活かつ進化させようと考えた。

復活の面では、繁栄していた昔の店を自分の記憶や、地元の人の意見をもとに、今も残っている店や、人気店のデザインコードをもとに、レンガ調やテント地のひさしを全店舗に取り入れ十三感を再現した。

また進化の面では、人口が増えると商店街の利用者が増え、繁栄に成功した商店街の復興事例を参考に、マンションを建て人口増加を促し、商店街の利用率を高めた。

昔からある十三らしい良さ風習を残しつつ、現代風に進化していくことを望む。



三村 航大

MIMURA, Kodai